

架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック

～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～



令和8年3月

大阪市こども青少年局

大阪市教育委員会

はじめに

大阪市こども青少年局 大阪市保育・幼児教育センターでは、平成30年度から「保幼小連携・接続推進事業（大阪市）」に取り組み、令和7年度で8年目となりました。この事業では、小学校を核とした「連携・接続」の進め方、あり方の研究に取り組んできました。第1期から第4期の12研究ブロックでは、それぞれの状況に合わせた「連携・接続」の実践研究の成果を発信しました。

文部科学省においては、「幼保小の架け橋プログラム」の取組を推進しており、このような国の動向も鑑み、「保幼小連携・接続推進事業（大阪市）」の成果を盛り込んだ架け橋期のカリキュラム実践ハンドブックを作成しました。就学前教育・保育施設（以下、「就学前施設」と言う）から小学校へとつながる【架け橋期】と言われるこの時期には、子どもたちが新しい環境で社会的な関係を築き始めます。就学前施設と小学校においては、この架け橋期の円滑な連携・接続をより一層高めることが求められています。乳幼児期及び学童期の子どもそれぞれの発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性や0歳から18歳の学びの連続性を大切にし、教育・保育内容や援助、支援、指導方法を工夫することが重要です。就学前施設同士も、就学前施設と小学校も、互いの教育・保育を知り、円滑な連携・接続ができれば、これまでも各校園所で進めている、一人一人の子どもを大切にされた教育・保育が充実していくと考えます。

子どもを取り巻く全ての大人が連携し、日々の子どもの育ちを喜び合うことで、子どもたち、保護者、就学前施設や小学校の教職員のウェルビーイングが実現できるのではないかと期待しています。

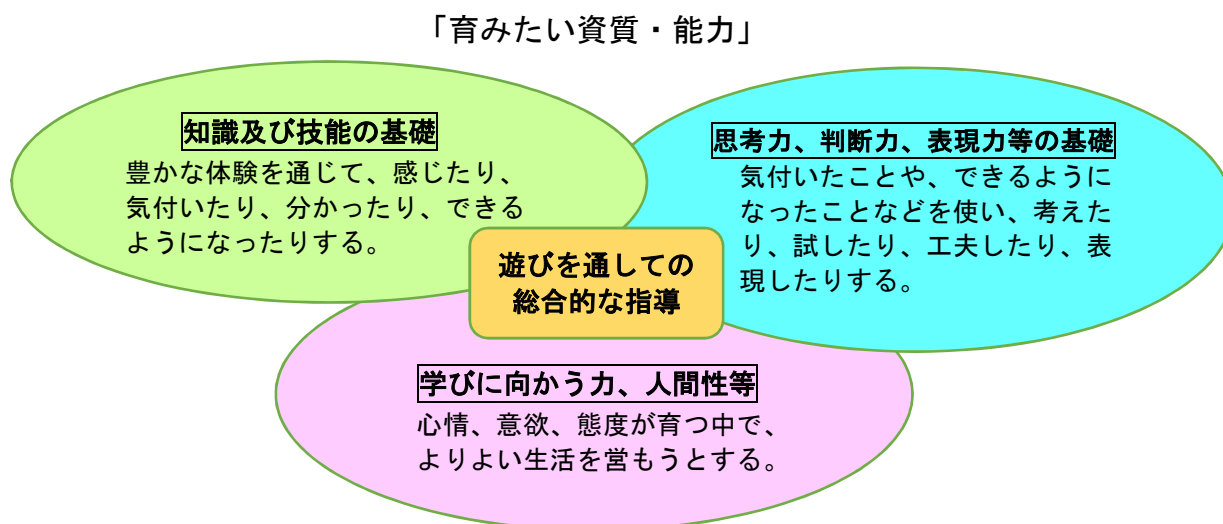
も く じ

はじめに	P. 1
もくじ	P. 2
<u>STEP 1 就学前教育・保育と小学校教育の連携は大切！</u>	
就学前教育・保育と小学校教育の連携・接続とは	P. 3
<u>STEP 2 架け橋プログラムってこんなことをめざしている！</u>	
「幼保小の架け橋プログラム」がめざすもの	P. 6
就学前施設のカリキュラム（5歳児カリキュラム）と	
小学校のカリキュラム（スタートカリキュラム）のつながり	P. 7
保幼小連携・接続推進事業（大阪市）第1期から第4期の実践研究報告より	P. 9
保幼小連携・接続推進事業（大阪市）第1期から第4期について	
「連携・接続」で大切にしたいこと	
架け橋プログラム事例	
スタートカリキュラム作成に役立つポイント	
就学前施設での生活や遊びを踏まえて小学校の学習につなぐ時間割	
スタートカリキュラム事例	
<u>STEP 3 スタートカリキュラムをつくってみよう！</u>	
つくってみよう【スタートカリキュラム】	P. 15
スタートカリキュラムのねらい	
スタートカリキュラム実施の主な流れ	
長期的なスタートカリキュラムイメージ例	
スタートカリキュラムの取組始め	
就学前施設 連携・接続における自園所の段階は？	P. 17
小学校 連携・接続における自校の段階は？	P. 18
スタートカリキュラム例	P. 19
指導講評	P. 24
参考様式集	P. 26

STEP 1 就学前教育・保育と小学校教育の連携は大切！

就学前教育・保育と小学校教育の連携・接続とは

就学前教育・保育は、生涯にわたる自己実現の基礎となる力を身に付けるものであるとともに、社会の一員として生きていくための資質や能力の基礎を培う重要なものです。幼児期に培われた資質・能力が、特に小学校での生活や学習に深くつながるため、小学校教育への円滑な接続が求められています。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、「生きる力の基礎」を育むために、3つの「育みたい資質・能力」を挙げ、小学校以降の教育へつないでいます。

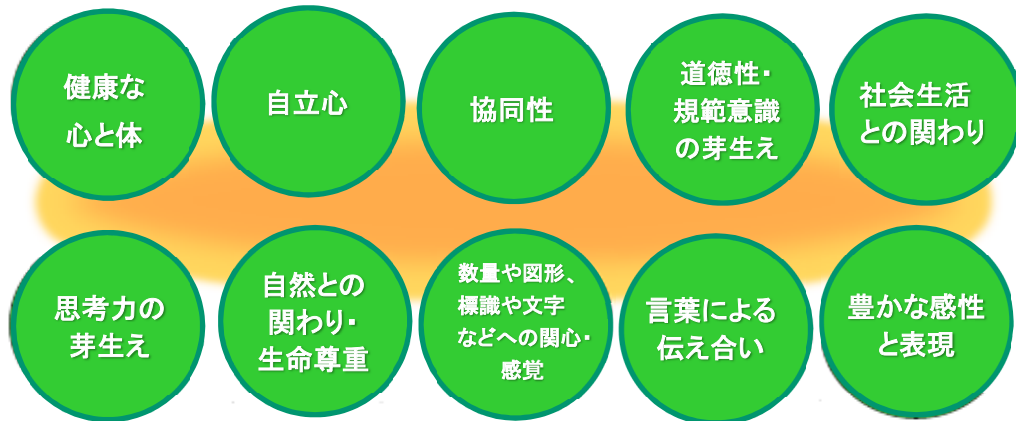


一方で、小学校学習指導要領では、「育成すべき資質・能力」として定められた考え方が示されています。



また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「育みたい資質・能力」が育まれている具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」



小学校への円滑な接続を図るため、就学前施設と小学校の教職員が双方の独自性を理解し、尊重しながら、「育みたい資質・能力」の重要性を認識し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して子どもたちの育ちを共有し、それぞれの校園所の教育・保育を充実させることが大切です。そして、就学前施設と小学校の生活や遊び、学びが充実することで、子どもたちの満足感や自己肯定感が高まります。とりわけ、就学前の子どもたちにとっては、この満足感や自己肯定感の高まりの中で、小学校との交流活動を行うことにより、「小学校生活へのイメージ」や「あこがれ」をもつことができ、「小学校生活への安心感」も高まります。これらの心情、意欲、態度を育むことが、小学校教育への円滑な接続につながっていくと考えます。

現在、幼児が通う就学前施設の種別形態は様々であり、また、学校選択制の導入等により、一つの小学校に多くの就学前施設から子どもたちが入学するようになりました。このような状況に加えて、小学校では多様な子どもたちを受け入れるため、一人一人に添った取組を行っていることと思います。

それでは、実際に行われている具体的な取組について、振り返ってみましょう。

振り返ってみよう

～例えばこのような交流をしていませんか～

〈5歳児と小学生のいろいろな交流や生活科の授業の工夫〉

一緒に近隣公園の芝生広場で遊ぶ 生活科の学習



一緒に色水遊び



ふれあい遊び



校庭で一緒に遊ぼう！



グループになって「秋見つけ」

Teams を使った交流



〈入学当初の小学校教職員の取組〉

近隣の就学前施設と引継ぎをする	就学前施設の保育を参観したり、就学前施設の教職員と幼児の育ちについて話をしたりする
入学式の内容を工夫する	1年生が興味をもてるような入学式の内容を考える 1年生に分かりやすく伝達することを意識する
授業の打合せをする	学年での打合せを行い、1年生の実態に合わせた授業を考える
指導の工夫を考える	興味をもてるように授業内容を工夫する（週案・指導案）

進めてみよう

就学前施設と小学校の教職員と一緒に子どもの学びを考えることが、互いの教育・保育の充実につながります。5歳児から小学1年生の時期である「架け橋期」に、すでに、その時期の子どもの育ちに合った取組を実践されているのではないのでしょうか。それが「架け橋プログラム」につながっていくと考えます。

次のSTEP2では「架け橋プログラム」について、考えてみましょう。



STEP 2 架け橋プログラムってこんなことをめざしている！

「幼保小の架け橋プログラム」がめざすもの

幼保小の架け橋プログラム

「架け橋期」（5歳児から小学校1年生までの2年間）の教育の充実を図るため、幼保小の先生はもとより、保護者や地域住民等の子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、子ども一人一人の多様性に配慮した上で、全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指す取組

架け橋期のカリキュラム

幼保小の先生が、共通の視点を持ちながら、相互の教育内容や教育方法の充実を図るため、協働して作成する「架け橋期」のカリキュラム

文部科学省

就学前施設のカリキュラム (5歳児カリキュラム)

小学校の先取りの教育ではなく、小学校以降の教育を見通しながら、その基盤となる資質・能力を育成していくことを踏まえて教育活動を実施するためのカリキュラム

小学校のカリキュラム (スタートカリキュラム)

小学校へ入学した子どもが、就学前施設の遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

次のページでは、就学前施設と小学校のカリキュラムを見合わせて、どのようなつながりがあるのかを考えてみましょう。

就学前施設のカリキュラム(5歳児カリキュラム)と小学校のカリキュラム

「就学前教育カリキュラム」(大阪市)

P72 5歳児カリキュラム P127 大阪市立小学校スタートカリキュラム(例)より抜粋

5歳児カリキュラム

ねらい 期の の	Ⅲ期(9・10月)	V期(1・2・3月)
	子どもの育ち 教育的意図を持った働きかけ	○考えや気持ちを出し合って活動する楽しさを共有する中で、友達との一体感を味わう
○自分の思いをいろいろな言葉に置き換えたり、文字や数字に関心をもったりして遊ぶ		○いろいろな環境に関わって考えたり学んだりしたことに自信をもつ 工夫してつくったりしようとする
○絵を通わせるとともに言葉に対する感覚を養う ○友達のいろいろな考えを知り、共感したり受け入れたりしながら、考えを出し合って遊ぶ		○友達と共通の目的をもち、考えを出し合ったり話し合ったりして試行錯誤しながら根気よく活動を進め、充実感や達成感を味わい、就学への期待をもつ
○友達と考えや気持ちを出し合って活動し、一体感を味わって楽しさを共有する		○挑戦したり目標をもったりして、戸外で存分に体を動かす ○共通の目標に向かって、集団での活動を楽しみ、充実感や達成感を味わう
○いろいろな環境に働きかけ、それらの特徴を生かして遊びや生活を工夫する		○共通の目標に向かって、集団での活動を楽しみ、充実感や達成感を味わう
○集団的な活動や運動遊びを通してルールを守って、友達と力を合わせる楽しさを味わう		・絵本や物語を楽しむ中で、友達とイメージを共有し、豊かな言葉や表現を身に付けられるようにする
・相手の気持ちを考え、聞いたり話したりするコミュニケーションの大切さに気付くようにする ・生活や活動の中で、文字や数字等に関心が		・探究心、好奇心が高まるように、物の性質や仕組みや自然の変化、現象等への関心をもてる活動を積極的に取り入れる ・広さ、高さ、位置関係、空間等の感覚が養え捉えて、意識付ける内容を遊びに取り入れる ・友達と共通のイメージをもち、遊びに必要ないたりつくったりできるよう、適切に助言する ・様々な方法で表現することを楽しめるよう、心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かに ・お互いによさを認め合い、考えを出し合っながら、やり遂げた達成感が味わえるように ・友達と活動する中で、葛藤やつまずきを体験
○探究心、好奇心が高まるように、物の性質や仕組みや自然の変化、現象等への関心をもてる活動を積極的に取り入れる		○友達と一緒に表現する充実感を味わえるようにし、自信や意欲をもたせて就学への期待につなげる
・必 ・よいこと、悪いことに気付き、考えて行動 ・秋から冬の自然に関心をもち、自然の変化にるようになる ・動植物の生長に触れたり、責任をもって世話を育む ・一人ひとりが大切な存在であることを伝え、		○係や当番活動に進んで取り組み、最後まで責任をもつてすることの必要感に気付くようにする
・ルールのある遊びを友達と工夫し、挑戦するしさを味わえるようにする ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さに気付き、リズムを整えられるようにする ・自分たちで遊具、用具の準備や片付けをすることで、その特徴や安全な使い方に気付くようにする ・収穫を通して様々な恵みに感謝の気持ちを		○春の訪れや生命の息吹を感じ、身近な自然や事象に親しめるようにする ・自分の力で行動する充実感を感じられるようにする ・体の動きを自分で調整できるようにする ・自分の体の成長を知り、健康な体づくりに関心を持てるようにする ・身の回りの安全に関心をもたせ、気を付けて行動できるようにする ・自分の命を守るために必要な行動を再度知らせる ・いろいろな食べ物の役割について関心を深め、学校給食に期待がもてるようにする

言葉による
伝え合い

就学前施設でも季節を感じる体験をたくさんしました。広い校庭でも、いろいろな発見があり、見つけたことを友達とも伝え合います。



数や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

就学前施設で、収穫した野菜を、野菜ごとに並べて数の多い少ないを比較したことが、数字の学習につながります。



豊かな感性
と表現

就学前施設でも毎日友達と一緒に歌を歌いました。小学校で、新しい友達と知っている歌を歌うと、楽しい気持ちになります。



(スタートカリキュラム)のつながり

架け橋

スタートカリキュラム

就学前施設と小学校のカリキュラムを見合わせて、
どのようなつながりがあるのか、考えてみましょう

自然との
関わり・
生命尊重

就学前施設では、花を育てたり、虫を見つけたりすることは大好きな活動でした。小学校には、校庭にいろいろな花や木があり、どこに虫がいるのか探すことを楽しみにしています。



道徳性・
規範意識の
芽生え 協同性

就学前施設では、ぞうきんを絞って掃除をする経験をしました。また、机や椅子も自分たちで運んでいたのが、小学校でも、友達や上級生と一緒に運んだり並べたりしています。



	学習活動	3日目
朝の会	朝の会 「げんきに おはよう」	<ul style="list-style-type: none"> 元気に挨拶をする 自分の健康状態を伝える 体を動かしながら歌を歌い、心と体をほぐす
1	生活・国語・図工 「がっこう だいすき ～はるを みつけた～」	<ul style="list-style-type: none"> 散歩の範囲を校庭に広げ、見つけた「春」を絵や言葉で伝える 
2	生活・国語 「がっこう だいすき ～がくしゅうえんに いこう～」	<ul style="list-style-type: none"> 学校の学習園に行き、春に咲く花や活動する虫を見つける
3	国語・生活 「ひらがなを よもう・かこう」	<ul style="list-style-type: none"> 見つけた春を文字で読む 机の端に貼ってある自分の名前を見ながら丁寧に書き写す
4	算数 「ともだち 「すうじを かこう」	<ul style="list-style-type: none"> 算数の教科書を見て、具体物を数える ノートの使い方が分かる
給食	給食の準備・片付け	<ul style="list-style-type: none"> 6年生に付き添ってもらい、給食を運ぶ 配膳する 食事をする 
掃除	掃除	<ul style="list-style-type: none"> 6年生に教えてもらいながら、自分たちで教室を掃除する 
昼休み		<ul style="list-style-type: none"> みんなで運動場に出て遊ぶ
5	音楽・学級活動 「がっこう だいすき」	<ul style="list-style-type: none"> 声を合わせて楽しく歌う 明日の歌を決め、「明日も学校へ来たい！」という気持ちをもつ
下校		14:30 下校

「好きな遊びの時間を設ける」
遊びの要素を取り入れることで、幼児期に培ってきた経験や学びを、小学校でも発揮していけるようになっていく。

「教科・関連的な指導・授業を展開しつつ、ゆったりとした時間を確保する。」

「教科学習の要素を取り入れ、意欲的に学習していく。」

保幼小連携・接続推進事業（大阪市）第1期から第4期の実践研究報告より

保幼小連携・接続推進事業（大阪市）第1期から第4期について

研究目的

- ・就学前施設（保育園所、幼稚園、認定こども園）と小学校との連携・接続の実践研究を通して、園所・校種別間の理解を深め合い、それぞれの「ねらい」を踏まえながら、連携・接続の一層の充実を図ることで、小学校教育への移行を円滑にするとともに、子どもの学びを豊かにし、就学前教育・保育と小学校教育の質の向上を図ります。
- ・就学前施設と小学校がそれぞれの役割と責任を果たすとともに、子どもの発達や学びの連続性・一貫性を確保し、子どもに対して体系的な教育・保育を組織的に行うための「連携・接続」の進め方とあり方を研究します。

連携・接続の現状

一つの小学校の周りには、公立幼稚園や公立保育所が必ずしも隣接しているとは限らず、その多くは私立幼稚園、私立保育所、認定こども園等が複数隣接しています。近くに隣接する就学前施設がない小学校もあります。また、子ども同士の交流会を実施するには、距離的に行き帰りの安全面に課題等もあります。

このような現状の中、研究期間2年間の当事業において、4期に渡って研究を進めてきました。1期から4期までの取組内容については、当センターホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

[大阪市：保幼小連携・接続推進事業（…>サポート・施設・コミュニティ>施設）](#)



保幼小連携・接続推進事業では、教職員が互いに教育・保育を理解し合うことから始めています。P. 11、12 に、就学前施設と小学校では同じ時期にどのような活動をしているかを照らし合わせながら、教職員が話し合いを行って作成した架け橋プログラムを掲載しています。取組の参考事例としてご覧ください。

就学前施設において接続期のカリキュラムを作成している場合は、近隣の小学校や連携先の小学校の取組に、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿と関連する事柄を加えてみることで、架け橋期のカリキュラムとして活用することができます。そして、就学前施設および小学校のカリキュラムを互いに持ち寄り、照らし合わせ、子どもの育ちについて話し合う機会を通じて、それぞれの視点を生かしながら、子どもたちの学びをどう捉えていくかを一緒に考えていくことが、架け橋プログラムの実施になると考えます。

「連携・接続」で大切にしたいこと

それぞれの研究報告では、「連携・接続」を進めるうえで、大切なこととして、次のような意見がありました。

研修

- ・就学前施設と小学校の全教職員が、研修会や研究発表会に参加
 - ・施設内研修や合同研修会の実施
- ⇒「連携・接続」の必要性やイメージをもつと、取組の方向性が見える



教職員の交流

- ・相互参観を通して、子どもの姿や育ち、学びを共有
 - ・就学前の「遊び」を通じた学びの芽生えと、小学校の「学習」での自覚的な学びの理解
- ⇒互いに声をかけ合って無理のない交流から！



子ども同士の交流

- ・互いのねらいを明確に
- ・計画の段階で、双方が考えや工夫を出し合う

引継ぎ

- ・具体的な姿や支援を共有
- ・就学前の時期だけでなく、5歳児の保育参観や連絡会などを通して共有
- ・支援を必要とする子どもの学びと支援を確実につなぐ



教育課程をつなぐ

- ・「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有



次のページには、保幼小連携・接続推進事業第3期研究ブロック資料「架け橋プログラム事例」を掲載しています。就学前施設と小学校が持ち寄ったカリキュラムを一覧にまとめるとともに、小学校の学習の関連等を示し、学びのつながりを知るために活用されたものです。

架け橋プログラム事例

- 生活 …… 音楽 …… 社会
- 図工 …… 道徳 …… 国語
- 体育 …… 行事 …… 算数

【小学校と就学前施設では同じ時期にどのような活動をしているかを出し合いながら、作成した架け橋プログラム事例を掲載しています】

めざす子ども像

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活科・教科の関連	生活科・教科の関連	いねんせいになつたらねんどどなかよし	がっこうをたんけんしよう	きれいなぼなをさかせたい	きせつとあそぼう	【年間を通して】 図工 季節・行事の掲示物作成等	表現・リズム遊び	あきをみつつけよう	みんなであそぼう	跳の運動遊び	しょうたいしよう	きせつとあそぼう	もうすぐ2年生
	取り組みの	入学式 給食参観 春の遠足	引き渡し訓練	夏祭り (たてわり班)	終業式	始業式	学習参観	運動会 秋の遠足	学習発表会 or作品展	終業式	始業式	学習参観	修了式
環境構成	植物・生物	チューリップ、サクラ、シロツメグサ、アオムシ、オウゴン、ザリガニ、キンギョ	ツツジ、フジ、ツユクサ、タンポポ	ジャガイモ カタツムリ	アサガオ、ペチュニア、フウセンカズラ、ナス、ヒーマン、オクラ、ミニトマト	カブトムシ、セミ	スズムシ、バッタ				サザンカ		ナノハナ、ムスカリ、ヒヤシンス
	用具・遊具・教材等	【いろいろな遊び、生活科】 石鹸、泡だて器、手作りポスト、シール、はがき用紙、スタンプ、郵便バック、すくろく、カルタ、コマ、けん玉、たこあげ等	【運動遊び、体育】 縄、平坊台、跳び箱、鉄棒、マット、フープ、泳むボール、泳む輪、浮かぶおもちゃ、水鉄砲等	【制作遊び、図工】 のり、はさみ、セロテープ、ガムテープ、木工用ボンド、絵の具、ペン、鉛筆、色鉛筆、折り紙、色画用紙、アクリル絵の具、カラーボリ、不織布、色画用紙、色紙、水のはり、いろいろな容器(牛乳パック、缶、プラスチック容器、バケツ)等	【制作遊び、図工】 のり、はさみ、セロテープ、ガムテープ、木工用ボンド、絵の具、ペン、鉛筆、色鉛筆、折り紙、色画用紙、アクリル絵の具、カラーボリ、不織布、色画用紙、色紙、水のはり、いろいろな容器(牛乳パック、缶、プラスチック容器、バケツ)等						【遊び、音楽】 スズ、タンブリン、カスタネット、トライアングル、ウッドブロック、グロッケン、シンフォーン、小太鼓、大太鼓等		
就学前施設との関係	就学前施設との関係		・避難訓練 (●●保育所)	●●地域 盆踊り	・プール交流 (保幼こ)	▲▲地域 盆踊り	・保幼交流 ・小学校→保幼訪問	・△△小学校 作品展見学	・地域清掃 (保幼こ)	・わくわく交流 (○○幼稚園・△△こども園)			・ドッチボール交流 (保幼こ)

1 小
年
間
計
画
の

生活科・教科の
関連など

小学校と
就学前施設
の環境の共通

スタートカリキュラム作成に役立つポイント

保幼小連携・接続推進事業第3期研究ブロックでは、次のポイントや移行段階を意識して、スタートカリキュラムを作成しました。

○幼児期に親しんできた遊びを取り入れる。4月初めに子ども同士が交流できる「遊び」を多く設定すると子ども同士のつながりが早い。

- ・手遊びやわらべうた、リズムにのって体を動かすこと
- ・絵本の読み聞かせ
- ・宝探し等のゲーム遊び など



○子どもの姿に合わせて、柔軟に時間割を組み替える。学びを楽しむことができるように工夫することで興味・関心が持続する。

- ・国語や音楽や学活等、複数教科を流動的に切り替える。
- ・子どもの姿や様子から、ゆとりをもって学習時間を短くしたり延ばしたりする。

○就学前施設が工夫して行っている環境構成や遊びの見える化を踏まえ、小学校で子どもたちがやってみたいと思う活動ができる場所や興味をもつ用具や玩具等の教材を準備する。子どもたちの育ちへの理解となり、小学校での自覚的な学びにつながる。

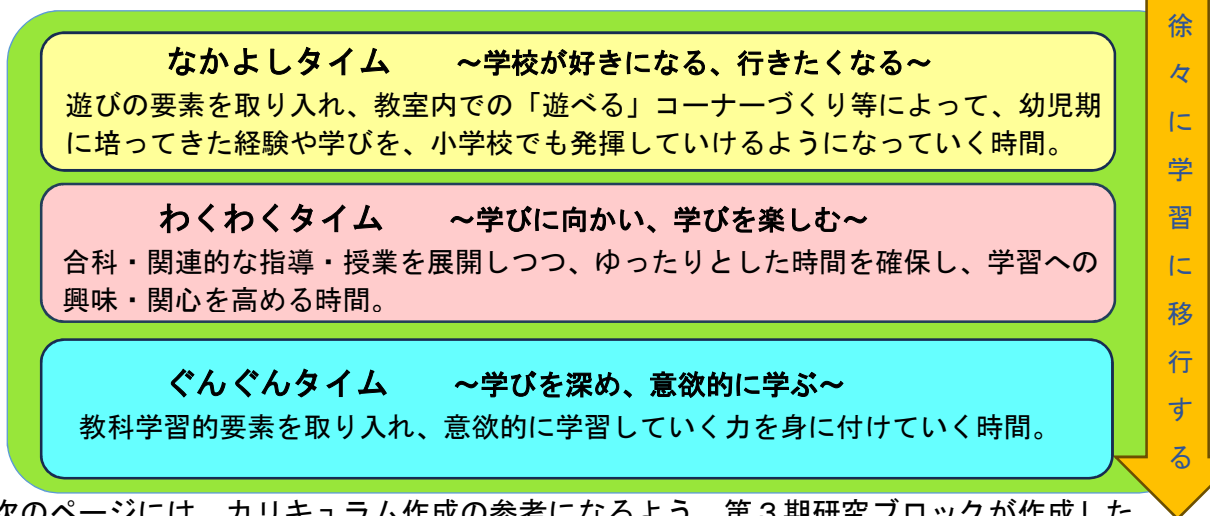
スタートカリキュラムを実践すると・・・

- ・子どもたちの発達段階に応じた柔軟な学習ができる。
- ・興味・関心をもつことができるような活動を通じて、学習への意欲を育むことができる。
- ・遊びを通して新しい環境に適応し、生活が充実することによって、積極的に学習する姿勢を養うことができる。



就学前施設での生活や遊びを踏まえて小学校の学習につなぐ時間割

第3期研究ブロックの取組では、次のように学びの時間帯を決め、子どもの姿に合わせて時間帯や内容を移行していきました。



次のページには、カリキュラム作成の参考になるよう、第3期研究ブロックが作成したスタートカリキュラム事例の一部を掲載しています。

スタートカリキュラム事例

1限 45分を15分ずつに区切っています。
○を15分として、1限につき3つの○を塗って計画しています。

なかよしタイムに、好きな遊びを取り入れることで、子どもたちは安心し、様々な子ども同士の関わりが増え、学校にスムーズに適應できます。また、心が満たされることによって学習意欲が向上します。

4月 第1週（4/10～4/14）

期待する児童の姿：学校の生活に安心し、環境に慣れる子ども

時限	1日の流れ	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)
行事		始業式	対面式			
朝時間	♡ 安心感をつくる時間	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム <small>〔保育所、幼稚園でやっていたこと〕</small>	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム (読み聞かせ)	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム (ランドセル)	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム (グーチョコキパー)
1限	なかよしタイム					
2限	◎生活科を中心とする学習活動 なかよしタイム わくわくタイム	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳○ 学活●● (下校の仕方)	生活●●○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工● 体育○ 道徳○ 学活○	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工○ 体育●● 道徳○ 学活○	生活●●○ 国語● (学校の一日) 算数○ 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳○ 学活○	生活●●○ 国語● (自己紹介) 算数○ 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳○ 学活○
3限	◎生活科を中心とする学習活動 わくわくタイム	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳○ 学活●●	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳● 学活●	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工○ 体育●● 道徳○ 学活○	生活●○○ 国語○ 算数○ 音楽○ 図工●● (クレパス) 体育○ 道徳○ 学活○	生活●○○ 国語○ 算数●● (友達見つけ) 音楽○ 図工○ 体育○ 道徳○ 学活○
4限	◆教科等を中心とする学習活動(合科的) わくわくタイム ぐんぐんタイム	国語●●○ 算数○○○ 生活●○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活●●●	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳●●● 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽●●● 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工●●● (似顔絵をかく) 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○

具体的な活動名を記入する等、活用方法は工夫できます。



次のSTEP3では、実際にスタートカリキュラムをつくってみましょう。

STEP 3 スタートカリキュラムをつくってみよう！

つくってみよう【スタートカリキュラム】

小学校へ入学した子どもが、就学前施設の遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

就学前施設の5歳児の子どもたちは、小学校への入学を前にし、大きな期待と同じだけの不安を抱いています。就学前施設の生活と小学校の生活の違いからくる環境の変化や、集団の規模の違いからくる人とのつながりの変化に、子どもたちは対応していこうとしますが、この違いを上手く乗り越え、教育・保育での子どもの育ちと学びをつなぐために、スタートカリキュラムを作成してみましょう。その際、例えばこれまで各校で作成している1年生の4、5月の週案を活用できるのではないのでしょうか。交流をスタートさせ、小学校の教職員が就学前施設に行く機会をもったり、就学前施設の子どもたちが小学校に来る機会をもったりするなどし、また交流後の振り返りと共有を通して、遊びが幼児にとっての学びであることを知り、小学校における自覚的な学びへとつないでいくことを、学校内で共有しましょう。

「大阪市就学前教育カリキュラム 第3章 小学校教育への接続」に詳細が掲載されています。

https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/cmsfiles/contents/0000446/446892/11_setuzuku.pdf

スタートカリキュラムのねらい

- ① 子どもが**安心感**をもてるように、乳幼児期に親しんだ活動を取り入れる
- ② 子どもが自信をもって**成長**していけるように、就学前教育・保育の経験を、小学校の学習につなぐ
- ③ 子どもの**自立**につなげるように、スタートカリキュラムを入口として6年間の見通しをもつ



スタートカリキュラム実施の主な流れ

① スタートカリキュラム作成における自校の状況を知ろう

就学前施設は P.17 のフローチャートを
小学校は P.18 のフローチャートを
チェックしてみよう

② 近隣の就学前施設の子どもの姿を通して、乳幼児期の子どもを理解しよう

就学前施設を見学
してみよう

③ 期待する子どもの姿を共有しよう

合同会議を
やってみよう

④ スタートカリキュラムをデザインしよう

P.19～23 のカリキュラム例を参考につくってみよう

⑤ 全教職員で共有し、協力しよう

⑥ スタートカリキュラムを実践しよう

⑦ 振り返り、改善しよう



長期的なスタートカリキュラムイメージ例

時期	4月	5月	6月	7月
つながり	<p>1対1のつながり → 小グループのつながり → クラスのつながり</p>			
活動と指導	<p>心をほぐし、つながりをつくる活動 → つながりを広げ自立を助ける活動 → つながりを強め自分らしさを発揮し主体性を育む活動</p> <p>教科横断の合科的・関連的な指導（生活科を中心として） → 教科等を中心とした指導</p>			
カリキュラムのねらい	<p>入学直後は、子どもたちの心をほぐし、1対1の人間関係をつくることを意識してカリキュラムを編成します。安心して生活できる環境を設定します。</p>	<p>1対1の安心できる関係ができる5月頃から、小グループでの活動を増やし、つながりを広げます。自分のことは自分でできるよう促します。</p>	<p>子ども同士のつながりを強め、学級を意識させる活動を増やします。カリキュラムの中にも、教科としての学習が増えてきます。様々な学習の中で、子どもが自分らしさを発揮できるよう配慮し、また、主体的に取り組もうとする態度を伸ばすように指導を工夫します。</p>	

スタートカリキュラムの取組始め

1年生の週案は、子どもの様子を予想しながら、丁寧に作成していることでしょう。その週案を就学前施設の教職員と一緒に考えている小学校もあります。例えば、就学前施設では乳幼児が集中した活動をする前に、手遊びやふれあい遊びをすることがあります。どのような手遊びやふれあい遊びに親しんできたのかを知るために、就学前施設と小学校の教職員が実際に集まってやってみるとい取組をされていました。その取組により、教職員同士の距離が縮まり、子どもたちの緊張感も和らいで、学校生活に慣れるのが早くなったそうです。

P.19～23には、小学校が週案を用いて、就学前教育・保育の観点と照らし合わせながら作成したスタートカリキュラム例を掲載しています。

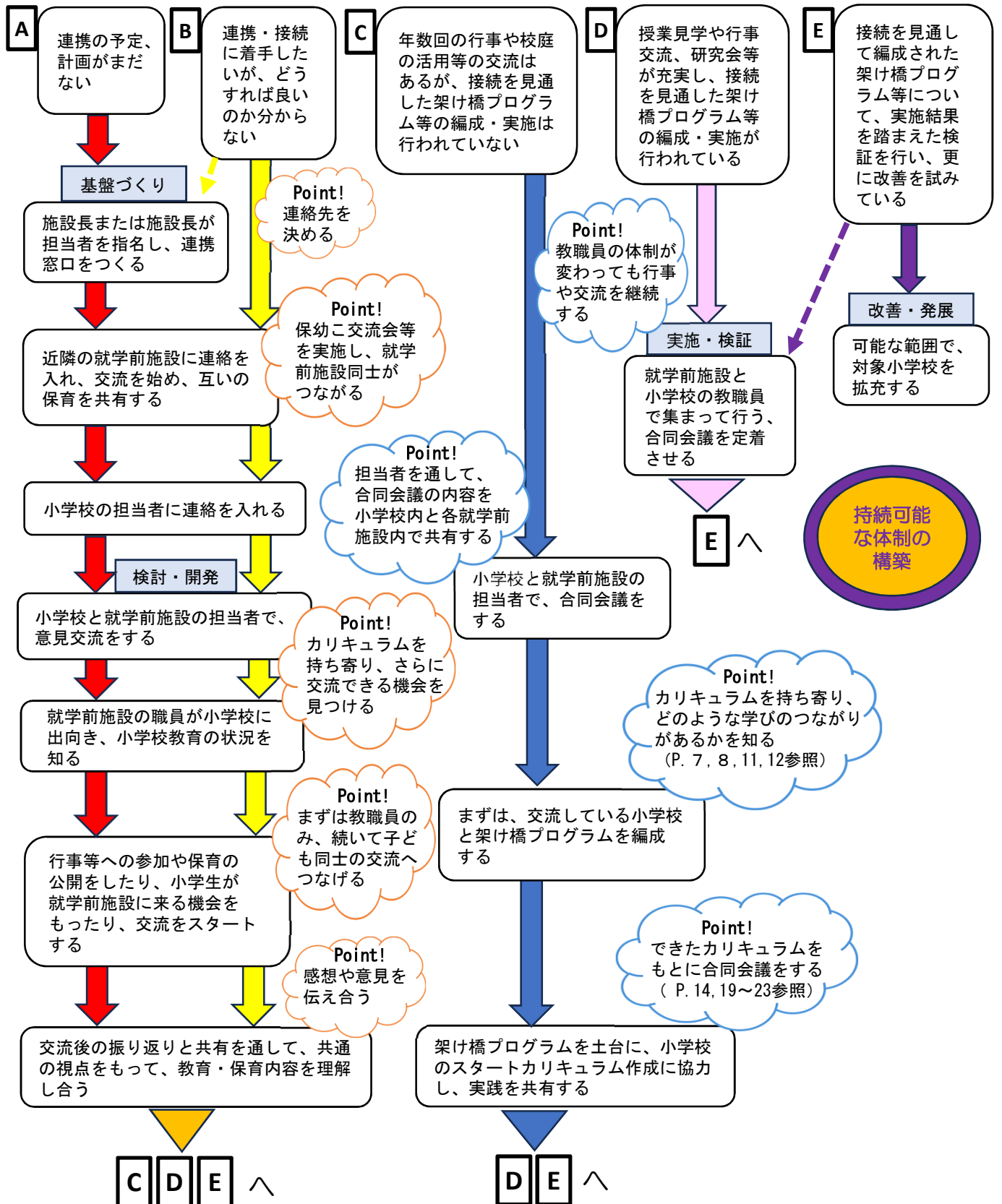
スタートカリキュラムは子どもの育ちをベースに

- ・生活ルールの習得や行事の配列だけになっていないか
- ・就学前教育・保育や学びを生かしたカリキュラム構成になっているか
- ・小学校6年間の育ちを見通したうえでのカリキュラムになっているか
- ・自校の実態に合ったものになっているか
- ・担当学年にとどまらず、すべての教職員で共有された学校全体のものであるか

就学前施設

連携・接続における自園所の段階は？

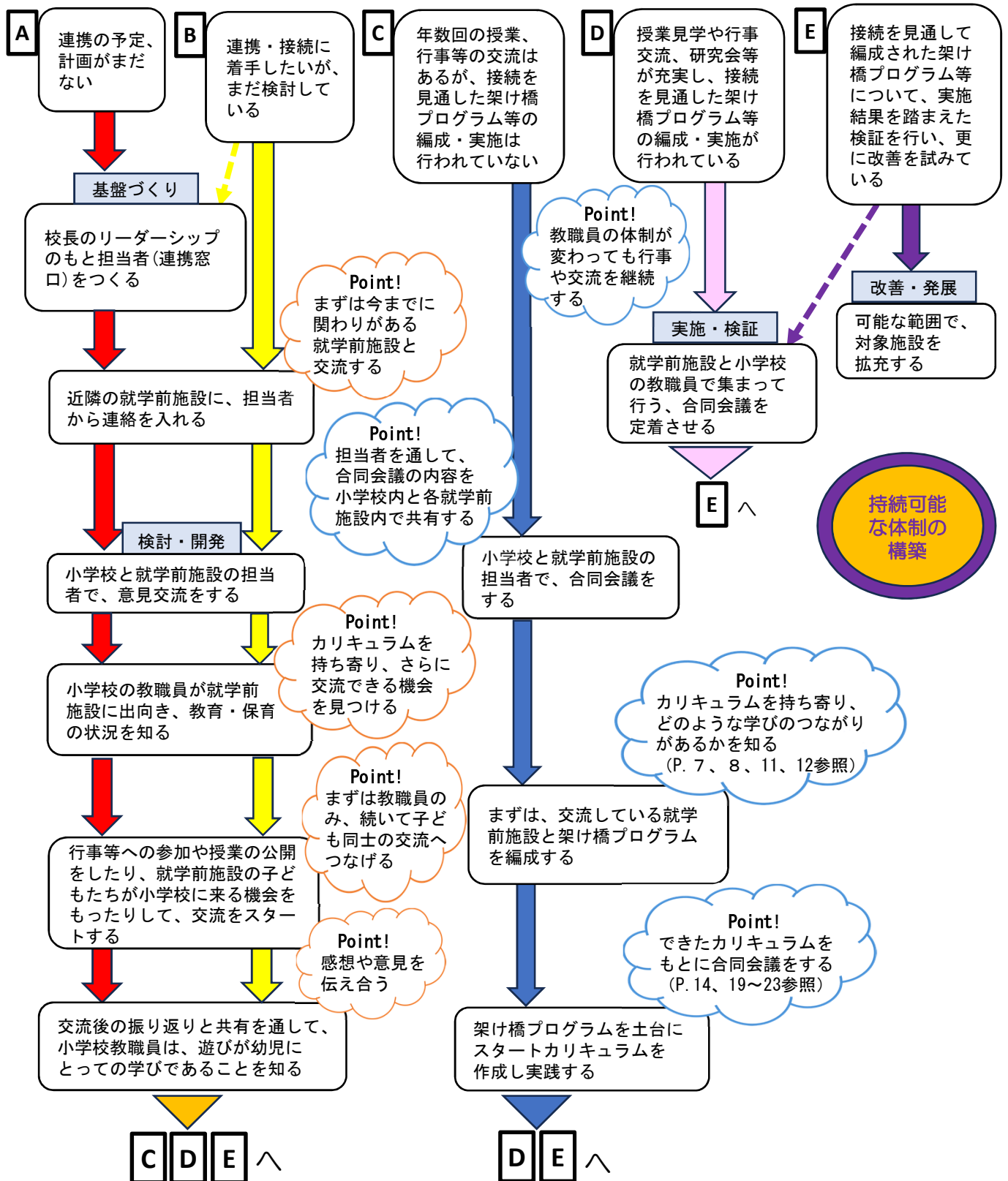
～自園所の段階を把握してみましょう～



小学校

連携・接続における自校の段階は？

～自校の段階を把握してみましょう～



スタートカリキュラム例①【4月第2週】

スタートカリキュラムの
指導のポイント

心をほぐし、つながりをつくる活動
～学校が好きになる、行きたくなる～

つながりを広げ自立を助ける活動
～学びに向かい、学びを楽しむ～

つながりを強め自分らしさを
発揮し主体性を育む活動
～学びを深め、意欲的に学ぶ～

行事	8日(月) (始業式)	9日(火) 給食開始	10日(水)	11日(木) 発育測定	12日(金) 児童集会
朝の学活	<p>○読み聞かせタイム ○手遊びタイム ○歌を歌おう</p> <p>就学前施設で親しんできた活動に取り組むことで、安心した和やかな雰囲気や友達と関わる</p>	<p>○元気にあいさつをしよう</p> <p>気持ちのよいあいさつや返事の仕方を伝え合う</p> <p>○身の回りの整理整頓をしよう</p> <p>ロッカーの使い方を覚える</p>	<p>○友達と仲良くなる</p> <p>自分の名前等を伝え合いながら、仲間づくりをする</p> <p>就学前施設で経験した歌やふれあい遊びを取り入れ、和やかな雰囲気の中で友達と関わるようにする</p>	<p>○測定を受ける準備をしよう</p> <p>衣服の着脱の準備やたたみ方について確認する</p>	<p>○児童集会に参加しよう</p> <p>異学年の友達と楽しんで関わる</p>
1	<p>○元気にあいさつをしよう</p> <p>気持ちのよいあいさつや返事の仕方を伝え合う</p> <p>健康な心と体 社会生活との関わり</p>	<p>○身の回りの整理整頓をしよう</p> <p>靴箱や傘立ての使い方を覚える 道具箱の整理の仕方を覚える 就学前施設とは違うきまりを知り、守る</p>	<p>○話を聞こう</p> <p>話の内容に興味をもって、しっかりと話を聞く</p> <p>○調べてみよう</p> <p>持ち物に記名されているか調べ、自分の持ち物を大切にしようとする</p>	<p>○測定を受ける準備をしよう</p> <p>衣服の着脱の準備やたたみ方について確認する</p>	<p>○きこえよ【国語】</p> <p>就学前施設での遊びの経験を生かし、(手遊びをする、体を動かす、リズムを口ずさむなど)音読の仕方を工夫する</p> <p>言葉による伝え合い 豊かな感性と表現</p>
2	<p>○トイレの使い方をしよう</p> <p>就学前施設とは違うきまりを知り、守る安全・安心な学校生活の過ごし方を知る</p> <p>○身の回りの整理整頓をしよう</p> <p>下校の準備の仕方について知る</p> <p>就学前施設でのきまりを把握して、段差の少ないきまりを児童と共に考える</p>	<p>○身の回りの整理整頓をしよう</p> <p>靴箱や傘立ての使い方を覚える 道具箱の整理の仕方を覚える 就学前施設とは違うきまりを知り、守る</p>	<p>○話を聞こう</p> <p>話の内容に興味をもって、しっかりと話を聞く</p> <p>○調べてみよう</p> <p>持ち物に記名されているか調べ、自分の持ち物を大切にしようとする</p>	<p>○発育測定を受けよう</p> <p>発育測定の受け方を確認する 自分の体に関心をもつ</p>	<p>○10までのかず【算数】</p> <p>具体物を使いながら、数の多寡や1～10までの数え方を学ぶ</p> <p>数量や図形、確論や文字などへの関心・感覚</p> <p>就学前施設で育まれた数量の感覚を生かして、視覚的に捉えられるよう、具体物を使う</p>
3	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p> <p>健康な心と体 協同性 道徳性・規範意識の芽生え</p>	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p>	<p>○体操服に着替えよう</p> <p>体操服の着脱の順序やたたみ方について確認する</p>	<p>○きこえよ【国語】</p> <p>就学前施設での遊びの経験を生かし、(手遊びをする、体を動かす、リズムを口ずさむなど)音読をする</p>	<p>○きこえよ【国語】</p> <p>就学前施設での遊びの経験を生かし、(手遊びをする、体を動かす、リズムを口ずさむなど)音読をする</p>
4	<p>○楽しく食べよう</p> <p>友達と一緒に楽しんで給食を食べる</p>	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p>	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p>	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p>	<p>○給食の準備をしよう</p> <p>給食の準備、片付けの仕方や食べ方を覚える</p>
給食	○楽しく食べよう 友達と一緒に楽しんで給食を食べる				
帰りの学活	<p>○一日を振り返ろう</p> <p>楽しかったことを伝え合いながら、明日の活動に期待をもつ</p>				

就学前施設での思いを伝え合う経験を生かして振り返ることができるような場にする
友達と思いを伝え合う経験が、さらに豊かになるように、児童の話や丁寧な受け止める

スタートカリキュラム例①【6月第3週】

スタートカリキュラムの
指導のポイント

心をほぐし、つながりをつくる活動
～学校が好きになる、行きたくなくなる～



つながりを広げ自立を助ける活動
～学びに向かい、学びを楽しむ～

つながりを強め自分らしさを
発揮し主体性を育む活動
～学びを深め、意欲的に学ぶ～

	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	
行事	児童朝会			○プール開き集会		
朝の学活		○読書タイム 自分の好きな本に親しむ	○英語学習 英語の歌やアルファベットの読み方を学習する	○プール開き集会 運動委員会の児童によるプールの入り方の説明や準備体操・整理体操のデモンストラーションなどを見る	○プール前学習 運動委員会作成の動画を見ながらプールの入り方の確認をする	
1	○きれいななを さかせたい【生活】 アサガオの様子を観察日記に絵や言葉で記録する 自然との関わり・生命尊重	○きいて つたえよう【国語】 聞いたことを正しく友達に伝える伝言ゲームをする 言葉による伝え合い	○あわせていくつ ふえるといくつ【算数】 加法の式と絵を見て合併の問題をつくる	○たんけんしよう【生活】 プールを見に行き、プールに入る順路を確認する 就学前施設のプールとの違いを知らせ、プール活動に期待をもてるようにする	○ことば あそび【国語】 しりとりやことばみつけの問題をつくって出題し合うことを楽しむ	
2	○あわせていくつ ふえるといくつ【算数】 「しき」「たしざん」の用語を知り、正しく使う	○ひらがなの がくしゅう【国語】 習った50音の書き取りをする	○ひらがなの がくしゅう【国語】 習った50音の書き取りをする	○あわせていくつ ふえるといくつ【算数】 増加の場面について、加法になることを理解し、数字や記号を用いて加法の式に表す	○プール開き【体育】 水着に着替えて、プールに持っていくもの、並び方、プールへの移動の仕方を確認する イラストを見ながら動物になって水遊びをする 健康な心と体	
3	○みんな あそび【学級活動】 フルーツバスケットやいす取りゲームをして楽しむ 就学前施設で経験した遊びを取り入れ、友達と関わられるようにする 道徳性・規範意識の芽生え	○あわせていくつ ふえるといくつ【算数】 問題文から合併の場面を捉え、加法の式に表して答えを求める	○ねこと ねっこ【国語】 身の回りの「つまるおと」を探し、できるだけ多く集めてノートに書く	○ことば あそび【国語】 教科書のしりとりやことばみつけをしながら、そのままりを理解しひらがなの読み書きをする	○プール開き【体育】 プールの水位を下げて、安心して活動に参加できるようにする 就学前施設で水に親しんできた活動を参考にして、プール遊びを計画する	
4	○きいて つたえよう【国語】 知らせたいことを落とさないように集中して聞き、正しく伝える	○ねこと ねっこ【国語】 音読をして、促音の発音の確認をする	○うまれたての いのち【道徳】 人、動植物、ものにも命があり、その命はどれも大切であることを知る	○確認をしよう【体育】 プールでの準備体操や整理体操の練習をする	○楽しかったことを伝えよう【学級活動】 初めてのプールで楽しかったことを伝え合う	
給食			○楽しく食べよう 友達と一緒に楽しんで給食を食べる			
5	○きれいななを さかせたい【生活】 大きくなったらアサガオの様子を伝え合う 自然との関わり・生命尊重	○はくのにのって リズムをうとう【音楽】 音楽に合わせてリズムをうったり、体を動かしたりする 就学前施設でなじみのあつた音楽や楽器を取り入れる 豊かな感性と表現	○水着に着替える練習をしよう【体育】 水着の着脱の順序やたたみ方について確認する 自立心	○はくのにのって リズムをうとう【音楽】 「ぶんぶんぶん」の曲を聞き、違いに気を付けてリズムをうとう	○きせつと あそぼう【生活】 雨の日の様子を話し合う 自然との関わり・生命尊重 梅雨時期に親しんでいた活動を取り入れ、季節を感じられるようにする	
帰りの学活	○一日を振り返ろう 楽しかったことを伝え合いながら、明日の活動に期待をもつ				言葉による伝え合い	

スタートカリキュラム例②【4月第2週】

就学前施設の先生との意見交流会でカリキュラムを共有し、一緒に考えたことを記入する（してもらう）とより効果的です

ひ	ようび	がくしゅう よてい	架け橋プログラムを参考にした 児童の学習活動 	かけはしエッセンス 	幼児期の終わり までに育って ほしい10の姿	時数				
8	げつ (しぎ ようしぎ)	1	あさのようい のかくにん	●げんきにあいさつしよう	『あなたのおなまえは』『よろしく ね』など、歌に合わせてみたり、席が 隣の児童と交流をはかったりするの もいいですよ	(5) 社会生活との 関わり	特別活動	1/3		
				●あなたのおなまえは？			音楽	1/3		
				●おとなりさんよろしくね			生活	1/3		
		2	せいかつ	●ならんでみよう ・もどってこれるかな？	楽しみながらできるといいですね。就 学前施設では数えたり、競ったりする 方法も取り入れています	(5) 社会生活との 関わり	特別活動	1/3		
				●じょうずにつかえるかな？ ・くつばこ、ろっかー			(3) 協同性	体育	1/3	
		3	たいいく	●といれのつかいかたに なれよう	就学前施設でも自分のことは自分で しています。写真や絵など掲示すれば、 見てやってみようとしていますよ	(3) 協同性	生活	1/3		
				●てあらいするときどんなとき			(1) 健康な心と体	体育	1/3	
		9	か	1	あさのようい のかくにん	●げんきにあいさつしよう	歌を歌いながらあいさつや返事にふれ る活動もいいかもしれません 持ち物に記名できているかは絵本を 使ってみるのもいいですね	(2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範 意識の芽生え	生活	1/3
						●おへんじできるかな？			特別活動	1/3
●じぶんのもちものわかる かな？	道徳					1/3				
2	おんがく			●うたをうたったり、きよくに あわせてともだちとうごこう	椅子を円状に並べて、就学前施設で 歌っていた歌を歌うことから始めてみ るのもいいかもしれません	(10) 豊かな感性 と表現	音楽	1		
				●がっこうがたのしみだ ●きゅうしょくごっこをしよう			(3) 協同性	道徳	1	
4	せいかつ			●きゅうしょくのようい	昼食の準備や片付けは経験しているの で、実物や絵などを使って分かりやす く知らせるといいですよ	(1) 健康な心と体 (2) 自立心	生活	1/2		
							特別活動	1/2		

10	すい	1	せいかつ	●うんどうじょうであそんでみよう	就学前施設等でも、子どもたちはたくさん遊んで遊んだ経験があります。「この遊具で遊んだことある人～！」と投げかけ、経験のない児童のお手本をしてもらうのもよいかもしれません	(1) 健康な心と体 (3) 協同性	生活	1
		2	こくご	●としょかんのつかいかた ●えほんをよもう	就学前施設でも、たくさん読み聞かせを聞いてきています。絵本の読み聞かせをぜひしてみてください	(8) 数量や図形、 標識や文字などへの 関心・感覚	国語	1
		3	ずがこうさく	●ねんどあそび	就学前施設でも、油粘土や紙粘土、小麦粉粘土などで遊んでいます。自由な発想で作らせてみるのも楽しいですね	(10) 豊かな感性 と表現	図画工作	1
		4	せいかつ	●きゅうしょくのようい	「昨日より上手に準備できるかな？」のように変化をつけた言葉がけも、子どもたちの意欲向上につながりますね	(1) 健康な心と体 (2) 自立心	生活 特別活動	1/2 1/2
11	もく	1	たいめんしき	●おにいさん、おねえさん よろしくね		(3) 協同性 (5) 社会生活との 関わり (9) 言葉による伝 え合い	学校行事	1
		2	ずがこうさく	●すきなものをかこう	すぐに「なにをかいているの？」とは聞かずに、どんなものができるのかな♪と楽しく表現できる雰囲気づくりを心掛けてみてほしいかもしれません	(10) 豊かな感性 と表現	図画工作	1/2
		3	こくご	●きょうかしよをひらいてみよう ●きこえるよ	「まねっこできるかな？」と投げかけてみるのも、いいかもしれません	(3) 協同性	国語	1
		4	せいかつ	●きゅうしょくのようい	肯定的な言葉がけを心掛け、子どもたちの自信の後押しをすることもいいかもしれません	(1) 健康な心と体 (2) 自立心	生活 特別活動	1/2 1/2
12	きん	1	たいそうふくのきがえかた	●こういのしかたをかくにん しよう	就学前施設でも着替えはしています。どこまでできるのか、まずは子どもたちにさせてみてから指導してみてください	(2) 自立心	特別活動	1
		2	たいいく	●せんせいといっしょにあそ ぼう	じゃんけん列車、各種鬼ごっこ、だるまさんがころんだなど、就学前施設でも慣れ親しんでいる遊びで体をたくさん動かしましょう	(1) 健康な心と体 (3) 協同性	体育	1
		3	さんすう	●どんなかずをしってるかな	就学前施設等での体験を思い出せるような言葉がけを行い、これまでの生活経験が算数につながっているんだと共有できたらいいですね	(8) 数量や図形、 標識や文字などへの 関心・感覚	算数	1
		4	せいかつ	●きゅうしょくのようい	成長が見えたところはその場で褒めたり、みんなで共有したりすることもできたらいいですね	(1) 健康な心と体 (2) 自立心	生活 特別活動	1/2 1/2

総時数

18 1/2

スタートカリキュラム例③【4月第3週】

就学前施設との連携
から得た気づき

心をほぐし、つながりをつくる活動
～学校が好きになる、行きたくなる～

つながりを広げ自立を助ける活動
～学びに向かい、学びを楽しむ～

つながりを強め自分らしさを
発揮し主体性を育む活動
～学びを深め、意欲的に学ぶ～

ひ	ようび	べんきょうすること	架け橋プログラムを参考にした 児童の学習活動	幼児期の終わりまで に育ってほしい姿
15	げつ	1 こくご <i>生き物の表現遊びや歌を歌う経験をしていたな</i>	・絵の中の生き物をさがそう【国】 ・生き物ごっこで楽しもう ・声に出して伝え合おう【国】	数量や図形、標識や文字への関心・感覚 言葉による伝え合い
		2 どうとく <i>あいさつや自己紹介の歌があるかも・聞いてみよう</i>	・教材文を聞こう【道】 ・登場人物を把握しよう【道】 ・あいさつごっこをしよう	道徳性・規範意識の芽生え 言葉による伝え合い
		3 ずこう <i>今まで使っていた道具と同じか、子どもたちに聞いてみよう</i>	・〇〇をつくってみよう【図】 ・お友達に紹介しよう【図】	豊かな感性と表現
		4 きゅうしょくのようい <i>就学前施設でも昼食の準備や片付けはしているから、掲示物を見て自分でしようとするかな</i>	・配膳の仕方を知ろう【生】 ・みんなで協力しよう ・当番の役割を知ろう【生】	協同性 自立心
16	か	1 さんすう <i>昨年の交流活動で〇人組をつくって遊んだな。遊びの中で数に触れているな</i>	・何個あるかな【算】 ・数を使ってチームで遊ぼう ・数えてみよう【算】	数量や図形、標識や文字への関心・感覚 協同性
		2 こくご <i>見たことがある、知っている文字があるか子どもたちに聞いてみよう</i>	・文字を書こう【国】 ・体をつかって文字遊び	数量や図形、標識や文字への関心・感覚 健康な心と体

らいしゅうのよてい

保護者への配付物をスタートカリキュラムに活用することができますよ

ひ	ようび	べんきょうすること	もってくるもの	かえるじかん
15	げつ	1 こくご	●げつようせつと ●「 <u>下校についてお知らせ</u> <u>ください</u> 」 ●まいにちもってくるもの ●きょうかしよ (こくご・どうとく・ずこう)	ごご 1じ45ふんごろ
		2 どうとく		
		3 ずこう		
		4 きゅうしょくのようい		
16	か	1 さんすう	●まいにちもってくるもの ●きょうかしよ (こくご・さんすう)	
		2 こくご		
		3 たいいく		
		4 きゅうしょくのようい		

幼小接続で何を繋げるのか

大阪教育大学 健康安全教育部系 教育学部教員養成課程家政教育部門

小崎 恭弘

架け橋期の取り組みや幼小接続など、さまざまに表現がなされるこの「幼児教育と小学校教育の連携・接続」の取り組みですが、これは一体何を繋げていく取り組みなのでしょう。

ここには様々な取り組みの視点があると言えます。もちろんその中心には「児童」が存在しており、その児童のよりスムーズな継続が大きな柱です。しかしその児童のみが努力し頑張れば、スムーズな接続ができるわけではありません。保育・幼児教育に関わる施設や職員の関わりや意識、そしてその後の生活の基盤となる小学校やそこにいる教職員の取り組みや意識の変化、またその両者に直接関わるようになる保護者の考えや理解なども重要です。そしてそれらを総合的に捉え実践の柱を作る行政や地域社会のあり方も、当然ながらこのつながりの基礎的な存在です。

そのような児童を取り巻く土台として、社会や周りの環境のつながりがまず求められていきます。その上で幼児教育と小学校教育をつなぐ具体的なものは、大きく二つ存在します。それが「3つの資質能力」と「探求・好奇心」です。子どもたちの「不思議・面白い」という、物事への純粋な好奇心やそれらを知りたいという知的欲求につながる探究心が存在します。そしてその思いを保育者や教師が見取り、さまざまな意図をもち場面を構築しながら環境を整えていきます。その整えの大きな方向性が「3つの資質能力」なのです。また幼児教育と小学校教育は、それぞれの特徴の違いがあります。それぞれの相違点はそれぞれの教育の独自性であり、それらが緩やかに変化していきつながっていくのです。それらをまとめたものが図の1です。

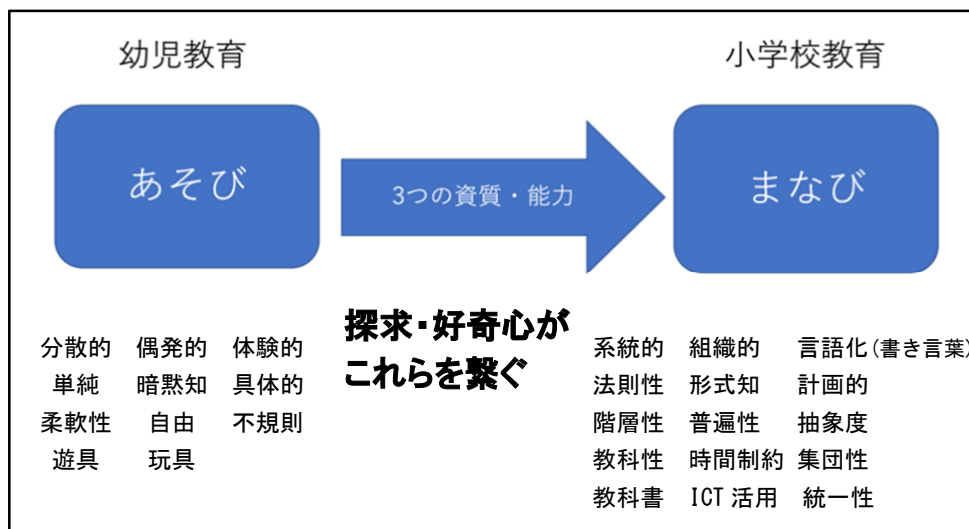


図1. 幼児教育と小学校教育のつながりイメージ

このような視点に立てば、この連携・接続は単に対象の児童のみの問題や取り組みだけではなく、子どもたちの育ちと教育全体の繋がりが存在していることに気付かされます。つまりこの取り組みは、これからの未来を担う子どもたちをどのような環境で育てていくかという、壮大なテーマへの地域の一つの答えであると言えます。この冊子を手にとられる皆様の地域で、今回のこの成果が子どもたちの未来につながる取り組みとなることを願っております。

「架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック」 ～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～

関西国際大学 教育学部 教育福祉学科
椋田 善之

本ハンドブックは、大阪市が長年にわたり取り組んできた「保幼小連携・接続推進事業」の成果を、体系的にわかりやすくまとめたものです。特に、文部科学省が提唱する「幼保小の架け橋プログラム」の理念を踏まえつつ、現場の実践に即したスタートカリキュラムの構築と展開が丁寧に記述されており、全国の自治体や教育機関にとっても参考になる内容だといえます。

私自身もここ数年、「保幼小連携・接続研究事業」の実践に携わり、貴重な経験をしてきました。この事業を通しての一番の成果は、連携・接続の意味・重要性をそれぞれの先生方が感じていることにあると思います。実際に、先生方から連携・接続の実践を通じた効果として示されることは、第一に子どもたちの小学校への適応が挙げられます。しかし、この連携・接続が本当の意味で機能すると、子どもの「学び」に必ず結びつきます。ぜひ、この点について、私たち一人ひとりが真剣に向き合っていきましょう。そのためにも、本ハンドブックをまずはご活用ください。特に、小学校では、「生活科」を活用し、幼児教育のような「遊び」を通じた「学び」を実践し、小学校における教科学習にうまくつなげていくことが重要になると思います。また、小学校の学習環境についても、幼児教育における環境構成からヒントを得ることで、子どもたちの「学び」をさらに促進していくことができます。「遊び」や「環境」を通して、学ぶことの楽しさの土台を築き、子どもたちの興味・関心を育みながら、探究的な学びへとつなげていきましょう。

そして、特に「接続」を進める上で大事になることは、幼児教育と小学校教育の専門性を持った先生方が集まり、対話で子どもの姿を語り合うことにあります。対話を通じて、「援助や指導のあり方」「教材の工夫」「子ども一人ひとりの学びのプロセス」などを改めて見つめ直す機会が生まれます。実際に、これまで他市の実践にも多く携わってきましたが、互いの視点が混ざり合うことで新たな気付きと実践が生まれる場面を多く見てきました。

このような縦の交流も重要ですが、横の交流も重要になります。隣の園がどのような保育をされているか、ご存知でしょうか？地域の特性を生かした幼児教育を行う際、それぞれの園が全く違った方向で子どもを育てるのではなく、地域でどのような子どもを育て小学校につなげていくか、まずはそこから話し合うことが大事だと感じます。特に、「遊び」の重要性を大人が理解し、小学校を含めた地域に発信していくことで、子どもの「遊び」を通じた「学び」を捉える目が増え、地域で子どもの育ちをこれまで以上に保障していくことができます。

人手不足の中、大変なことも多くあると思いますが、10年後、20年後の社会で活躍する子どもたちのためにも、保幼小のつながりを築くことの意義を改めて認識し、接続の実現に向けて力を合わせて取り組んでいきましょう。



参考様式集

様式 1

架け橋プログラム例

様式 2

スタートカリキュラム例①

様式 3

スタートカリキュラム例②

様式 4

スタートカリキュラム例③

様式 5

スタートカリキュラム例④



架け橋プログラム例

めざす子ども像

』

小学校1年生の年間計画													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活科・教科の関連													
	教科以外の取組												
環境構成	植物・生物												
	用具・遊具・教材等												
地域との関わり	保幼小連携												
5歳児の年間計画													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就学前施設の遊びや学びの内容	各園共通の活動												
	○幼稚園の活動												
	●保育所の活動												
	▲△こども園の活動												
育ちつつある資質と能力													

スタートカリキュラム例①【4月第 週】

つながりやを強め自分らしさを
 発揮し主体性を育む活動
 ~学びを深め、意欲的に学ぶ~



つながりやを広げ自立を助ける活動
 ~学びに向かい、学びを楽しむ~





心をほぐし、つながりをつくる活動
 ~学校が好きになる、行きたくなる~



	日 (月)	日 (火)	日 (水)	日 (木)	日 (金)					
行事										
朝の学活										
1										
2										
3										
4										
給食										
帰りの学活	健康な 心と体	自立心	協同性	道徳性・ 規範意識 の芽生え	社会生活 との関わり	思考力の 芽生え	自然との 関わり・ 生命尊重	数量や図形、 権識や文字 などへの 関心・感覚	言葉による 伝え合い	豊かな感性 と表現

スタートカリキュラム例②【4月第 週】

ひ	ようび		がくしゅう よてい	架け橋プログラムを参考にした 児童の学習活動 	かけはしエッセンス 	幼児期の終わりまで に育ってほしい姿	時数	
		1						
		2						
		3						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						

総時数

スタートカリキュラム例③【4月第 週】

心をほぐし、つながりをつくる活動
 ~学校が好きになる、行きたくなる~

つながりを広げ自立を助ける活動
 ~学びに向かい、学びを楽しむ~

つながりを強め自分らしさを
 発揮し主体性を育む活動
 ~学びを深め、意欲的に学ぶ~

ひ	ようび		べんきょうすること	架け橋プログラムを参考にした 児童の学習活動	幼児期の終わりまで に育ってほしい姿
		1			
		2			
		3			
		4			
		1			
		2			
		3			
		4			

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の
芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・
生命尊重

数量や図形、標識や文
字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

スタートカリキュラム例④

1限 45分を15分ずつに区切っています。

○を15分として、1限につき3つの○を

塗って計画しています。

4月 第 週 (/ ~ /)

期待する児童の姿：

時限	1日の流れ	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)
行事						
朝時間	♡ 安心感をつくる時間	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()	自由遊び 手遊び 歌遊び お話 踊り ゲーム ()
1限	なかよし タイム					
2限	◎生活科を中心とする 学習活動 なかよし タイム わくわく タイム	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○
3限	◎生活科を中心とする 学習活動 わくわく タイム	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	生活○○○ 国語○○○ 算数○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○
4限	◆教科等を中心とする 学習活動(合科的) わくわく タイム ぐんぐん タイム	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○	国語○○○ 算数○○○ 生活○○○ 音楽○○○ 図工○○○ 体育○○○ 道徳○○○ 学活○○○

「架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～」は、大阪市保育・幼児教育センターホームページに掲載しています。

【引用文献】

「就学前教育カリキュラム」（大阪市）

「保幼小連携・接続推進事業（第1期から第3期）取組まとめ」（大阪市）

【参考文献】

「幼稚園教育要領」（文部科学省）

「保育所保育指針」（厚生労働省）

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府 文部科学省 厚生労働省）

「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」（文部科学省）

「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」（文部科学省）

「スタートカリキュラム実践ガイド」（横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会事務局）

「接続期における教育・保育実践の手引き」（八尾市・八尾市教育委員会）

架け橋期のカリキュラム実践ハンドブック
～なだらかにつながる『連携・接続』をめざして～

令和8年3月 発行

編集・発行者 大阪市こども青少年局 保育・幼児教育センター



